

スポーツ科学部 教員組織の編制方針

スポーツ科学部では、スポーツ科学分野における基礎力の修得を重視した教育課程を編成するとともに、学生が広い視野を持ち、学問を総合的に把握できるような幅広い教育と学生の多様な学修意欲に応じて、専門分野に関する基礎的な知識や実技を身に付けることを目的としている。そのため、本学部では、「学位授与の方針」に示した「教育研究上の目的（理念・目的）」及び「学修成果（教育目標）」を実現するために、次の方針のもとに、各学問分野における理論科目及び実技科目を中心に教員組織を編制する。

1. スポーツ教育学科では、「学位授与の方針」ならびに「教育研究上の目的」を達成するため、体育学分野及びスポーツ教育分野、学校教育分野における理論科目と実技科目を中心として、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を考慮し配置する。
2. 競技スポーツ科学科では、「学位授与の方針」ならびに「教育研究上の目的」を達成するため、スポーツ科学分野及びコーチング科学分野における理論科目と実技科目を中心として、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を考慮し配置する。
3. スポーツ健康科学科では、「学位授与の方針」ならびに「教育研究上の目的」を達成するため、健康科学分野における理論科目と実技科目を中心として、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教員を考慮し配置する。
4. 学部専任教員の全体数及び新規採用数については、梅村学園理事会の決定に従う。
5. 専任教員構成及び教員の新規採用計画（方針）は、スポーツ科学部の「学位授与の方針」、「教育課程の編成・実施方針」を踏まえ、スポーツ科学部教授会が決定する。
6. 専任教員の新規採用については、スポーツ科学部教授会が採用計画（方針）に基づき候補者を選考し、学部長が「新規採用候補者推薦書」を添え、梅村学園理事会に推薦する。
7. 専任教員の新規採用にあたっては、教員の年齢・性別・専門分野構成に偏りが生じないように努力する。
8. 教員の募集・採用・昇格等については、「学校法人梅村学園教育職員任用規程」に依拠するとともに、本学部が認める「教育研究上の目的」に従い教員の教育研究活動とその業績を適正に評価し、梅村学園理事会に推薦する。

以上